

'08.4.10

大栄サービス 廃棄飲料管理を一手に リバース・マネジメントC開設

総合リサイクル事業者の
大栄サービス(兵庫県西宮

市、赤澤健一社長)は、リサイクル業界では国内初の廃棄飲料専用管理・保管施設「リバース・マネジメントセンター(RMC)」を先月西宮市内に開設した。販売から廃棄に転じた飲料系商品の運搬・保管・処理までの一貫したマネジメントサービスを行っていく。従来、廃棄物処理施設においては保管スペースなどの問題から、大量の廃棄物の一括回収は困難だった。また、メーカーや物流センターでは、廃棄商品の在庫が倉庫スペースを圧迫し、商品の流通や販売活動の妨げとなっていた。同社はこうした問題に対し、RMCを設立することで回収・リサイクルの効率化、倉庫の回転率アップなどのメリットを提供していくもの。

RMCの保管面積は195㎡、容量は5005㎡で、2ℓペットボトルでは約30万本、缶コーヒーでは約300万缶が保管可能な規模を誇る。施設には環境対策として脱臭装置を備え、同時に、飲料メーカーの会

社名やブランド名の入った商品の流出防止のための24

Riken's Natural Spices

Onion Garlic

理研化学工業株式会社 理研化学商事株式会社
京都市伏見区深草向川原町4B 東京都港区南麻布4-13-9
075-641-5306F0 03-3444-0721F0

時間セキュリティも完備した。RMCに集約された廃棄飲料は、リサイクルの前

処理として梱包資材の段ボール類と商品とに分けられ、商品は破砕処理施設で中身と容器(缶、ビン、パック、ペットボトルなど)に分離。その後、破砕された容器は品別にリサイクルされ、中身は同社の乾燥施設で有機性廃棄物100%の「バイオソリッド燃料」に加工され、各種工場のボイラー燃料として再利用される仕組み。同社ではこうした一連の工程を一箇所に集約したことで、前処理の効率的に行えるほか、飲料業界における返品プロセスのサプライチェーンの効率化にも貢献できるとしている。